

分 類：臨床医学アドバンスコース

授業科目名：リハビリテーション（Rehabilitation medicine）

対象学年：4年次選択

時間割コード：71604017

開設学期等：第13週～第13週

単位数：0.5

1. 主任教員

粕川雄司（准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9:00-17:00）

2. 担当教員

粕川雄司（准教授、リハビリテーション科、6213、オフィスアワー：9:00-17:00）

工藤大輔（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

村田昇平（医員、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9:00-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業のねらい】

3年次コアカリキュラムで学んだリハビリテーション医学に関する重要事項を確認し、さらに最新の知識を学び、ロボットの活用など先進的な取り組みに対する理解を深める。また、関連するプロフェッショナリズム、多職種連携、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

【概要】

A-1-1 医の倫理と生命倫理

・医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。(5-1～5-5)

A-2-2 学修の在り方

・講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(5-1～5-5)

A-6-1 安全性の確保

・医療の安全性に関する情報を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。(3-5,3-6,4-3,4-6)

A-6-1 医療の安全性の確保 多職種が多段階の医療業務内容に関与していることが具体的に説明できる(2-5～2-6,4-7)

A-7-1 地域医療への貢献 地域における医療・福祉・介護の分野間および多職種間の連携の必要性を説明できる(2-5～2-7,3-7,4-7～4-8)

A-8-1 医学研究への志向の涵養

・患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。(5-1～5-5)

B-1-8 保健・医療・福祉・介護の制度

・障害者福祉の現状と制度を説明できる。(3-6,3-7,4-8)

D-4-4-(1) 運動器系の一般的疾患

・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

F-2-14 リハビリテーション

・リハビリテーションの概念と適応を説明できる。(3-3,3-7)

・リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。(4-7,4-8)

・理学療法、作業療法を概説できる。(3-3,3-7)

関連するプロフェッショナリズム、多職種連携、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

4. 教科書・参考書

リハビリテーション医学・医療コアテキスト第2版（公益社団法人日本リハビリテーション医学会 監修，医学書院発行，
定価 4,400 円（本体 4,000 円+税 10 %）

整形外科 術後理学療法プログラム 第3版（メジカルビュー社）

5. 成績評価の方法

口頭試問を行い，60 点以上を合格とする。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

8 時 50 分までに集合．場所は別途通知．

受入人数：10 名程度

授業を受ける前に指定された教科書，参考書を読んでくること．

授業が終わった後，配布資料を見ながら復習すること．

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	7月4日 (金)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：ロボットリハビリテーション</p> <p>【学習目標】新たに開発されているリハビリテーションロボットなど、最先端のリハビリテーション医療について学習する（1-1～1-2、2-5～2-6、3-5～3-7、4-3～4-4、4-6～4-7、5-1～5-5）</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる．</p> <p>A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる．</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム
2	7月4日 (金)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：脳血管障害リハビリテーション</p> <p>【学習目標】</p> <p>脳血管障害の急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる（2-1～2-8、3-1～3-7、4-2～4-8）</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる．</p> <p>A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる．</p> <p>A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる．</p> <p>F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる．</p> <p>F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる．</p> <p>F-2-14 理学療法、作業療法を概説できる．</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム
3	7月4日 (金)	5-6 時限	自主学习	<p>テーマ：内部障害リハビリテーション</p> <p>【学習目標】</p> <p>内部障害に対するリハビリテーションの概念と適応を説明できる（2-1～2-8、3-1～3-7、4-2～4-8）</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる．</p> <p>A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる．</p> <p>A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる．</p> <p>F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる．</p> <p>F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる．</p> <p>F-2-14 理学療法、作業療法を概説できる．</p>	粕川雄司	北臨床棟 2階カンファランスルーム

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	7月4日 (金)	7-8 時限	講義	<p>テーマ：脊髄損傷リハビリテーション</p> <p>【学習目標】 脊髄損傷のリハビリテーションを概説できる（2-1～2-8, 3-1～3-7、4-2～4-8）</p> <p>A-1-1 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる． A-2-2 講義，国内外の教科書・論文，検索情報等の内容について，重要事項や問題点を抽出できる． A-8-1 患者や疾患の分析を基に，教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し，疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる． F-2-14 リハビリテーションの概念と適応を説明できる． F-2-14 リハビリテーション・チームの構成を理解し，医師の役割を説明できる． F-2-14 理学療法・作業療法を概説できる．</p>	工藤大輔	北臨床棟 2階カンファランスルーム
5	7月4日 (金)	9-10 時限	自主学習	テーマ：自主学習		